

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称：アグリ.エカロー.虹	種別：就労継続支援(A型)	
代表者氏名：妹尾有人	定員(利用人数)：20(27)名	
所在地：岡山県倉敷市老松町4-14-16		
TEL：086-441-0130	ホームページ： https://www.agri-ekaro.or.jp/ni_ji	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 23年 12月 1日		
経営法人・設置主体(法人名等)：特定非営利活動法人アグリ.エカロー		
職員数	常勤職員：6名	非常勤職員 7名
専門職員	管理者 1名	(生活支援員) 6.5名(常勤換算)
	サービス管理責任者 1名(兼務)	介護福祉士 2名
	(医師：嘱託) 0名、(看護師) 0名	賃金向上達成指導員 2名
施設・設備の概要	居室4室 (個室0室・2人部屋0室・4人部屋0室)	訓練作業室・多目的室兼食堂・洗面所・更衣室・相談室・便所・車いす用便所・事務室

③理念・基本方針

○理念

自らの意思で働こうとする障がいのあるかたの働きたいを応援します

○基本方針

1. 一般企業に対応できることを目標に利用者の支援を行う。
2. 個々の特性を見極め、成果と努力を正當に評価し支援を行う。
3. 一般就労に必要な社会常識や能力習得のための職業訓練、生活支援、就労支援・職場定着のための支援活動を行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

広告制作やライティングなどのパソコン作業、開設当初からの一般家庭や企業等からの依頼の庭や墓の草取り・清掃作業、また地域の工場や倉庫への施設外就労を行っており、適正を考えて（障がいの配慮を含む）個々が活躍できる作業を提供しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 7年8月7日（契約日） ～ 令和 8年 2月 20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（ 令和 4 年度）

⑥総評

◇特に評価が高い点

目まぐるしく変化する社会情勢に対応すべく、新規の作業を開拓していった結果、お弁当の配達補助やホテルの清掃が加わり、利用者の就労先がなくならないように管理者は日々努力している。また雨が降った際に、利用者の仕事がなくならないように、内職作業も継続している。草取り契約のある近隣宅との話の中で「自販機の補充と空き缶のリサイクルをすることで、利用者の賃金の一部になっているし、資源として再利用することはSDGsにもなっている」と話した。そうしたら、こどもが学校で空き缶のリサイクルを夏休みの課題としてくれたことがある。と、地域との関わりを大切にしているエピソードが聞けた。職員に対しては、オンとオフの切り替えの必要性を説いており、有給休暇の取得やノー残業の推奨もしている。パートの職員については、家庭状況に応じて、無理のない働き方をして頂いており、育児休暇を取得されている職員もいて、職員の生活面や体調面にも配慮がなされていた。

◇改善が求められる点

近隣の小学校や保育園、官公庁関連に訪問をして、施設のことを知っていただけるような取り組みに期待します。また、各種マニュアルの整備が追いついておらず、これを機にマニュアルの見直しをして、新しい情報を加えてみてほしい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2回目の第三者評価をしたことで、改めて障がい者就労支援事業所としての地域の関わり合いの必要性を感じる事ができました。近隣の小学校や保育園、官公庁関連の訪問とマニュアルの見直しを早急に行い、地域における障がい者への理解と共生社会の実現に尽力していきたいと思います。

⑧第三者評価結果（別紙）

(別紙)

障害者・児施設

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a・b・c
<コメント> 理念は事務所、作業場に掲示していて、ホームページも記載している。数年前に新たな理念を掲げ、現在は浸透してきている。「自らの意思で働くとする障がいのあるかたの働きたいを応援します」となっている。職員会議の際に、振り返るようにしており、何かあればその都度、理念を確認するようにしている。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a・b・c
<コメント> 月1回開催される本部会議を行っている。現在の社会の動向の確認をしつつ、作業所の現状に即した業務を遂行している。		
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	○a・b・c
<コメント> 同法人ないにある多機能型事業所とも連携を図っている。経営状況や課題について、職員間で共有ができていて、周知もしている。正規の職員を中心に、少しずつ取り組んでいて、パート職員にも現状を把握して頂いている。		

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>報酬改定に対応すべく対策を講じている。書面にはしていないが、代表の思いは職員間に浸透している。月1回の本部会議にて、話し合いをして、人数や金額を把握している。ポスティングを実施して、職の幅を広げられるようにしている。</p>	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>上記に同じ</p>	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a · b · (c)
<p><コメント></p> <p>代表が事業計画を把握しているが、全職員への周知には至っていない。評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。管理者も今後は把握していき、課題を克服しようと考えている。</p>	
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a · b · (c)
<p><コメント></p> <p>事業計画(制度・賃金など)に変更があった場合には、利用者や家族へ伝えるようにはしているが、家族会を開催するには至っていない。</p>	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>年1回以上職員面談を実施し、自己評価・来年度の目標を設定している。必要に応じて随時、面談は実施している。年間研修計画のもと、内部研修や外部講習も行っている。支援会議(月2回)、朝礼の際に、気になることがあれば、情報を共有して、職員一丸となって取り組んでいる。</p>		
I-4-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>前回の外部評価結果内容は、職員や利用者、利用者家族間で情報共有を行った。年間研修計画の基、内部研修や外部講習は実施しているが、自己評価をするシステムはあり、有効活用を推進中である。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページにて管理者としての思いを明記しており、全体へ発信している。管理者は、「利用者の笑顔が生きがいに繋がっている」と語っていた。全体へ発信をしている。管理者は、事業所の経営状況について理解していて、職員は自分の役割を把握している。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>年間研修計画のもと、内部研修や外部講習も行い、集団指導や研修(災害、感染症、虐待・権利擁護)に参加しており、職員間で情報共有もできている。支援会議(月2回)、朝礼の際に、気になることがあれば、情報を共有して、職員一丸となって取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は社会の動向を把握し、事業所がより良いサービスを提供できるように、日々奮闘している。管理者は、職員や利用者を把握できるように、積極的に現場や営業活動にも出掛けている。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援会議・ミーティング・面談を実施して、職員からの意見や提案を基にして、経営改善や業務改善を実施している。効率的に作業を行えるように、専門的な職員に施工の仕方を教わり、学びを深めた。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>必要な人材が確保できるように計画を立て、人事育成を実施している。入社時に、就業規則・運営規定、個人情報・守秘義務などの研修を実施し、1週間と1ヶ月、3ヶ月に必須研修を受講していて、職員としての意識を高めている。</p>		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>人事基準を明確にすることで、職員への周知や評価もできている。管理者は、未来のサービス管理責任者を育成するべく、職員に期待を寄せている。職員が自分自身の未来を描くために、評価シートを活用している。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>常日頃から、オンとオフの切り替えの必要性を説き、有給休暇の取得や、ノー残業の推奨を行っている。また、パートの職員については、家庭状況に応じて無理のない働き方をして頂いている。現在、育児休暇を取得されている職員もいる。職員は、今後もこの仕事を続けたいと言っており、「利用者の成長を見るのが楽しみです」と語ってくれた。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>年間目標を掲げて、振り返りの場を設けている。何かあれば随時、個別に話し合う場を設けている。必要に応じた研修にも参加している。</p>		
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>年1回以上、法人内で権利擁護、虐待防止、接遇等の研修を行っている。外部研修(コロナ禍からの脱却研修、就労選択支援事業研修、虐待防止研修など)にも参加できた。また、参加した職員が内容をフィードバックすることで、情報を共有している。</p>		
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>年1回以上、法人内で権利擁護、虐待防止、接遇等の研修を行っている。外部研修(コロナ禍からの脱却研修、就労選択支援事業研修、虐待防止研修など)にも参加できた。今後、サービス管理責任者を取得を目指している職員への対応として、必要に応じた研修に参加して頂き、専門職としての知識を深められるように支援している。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>実習生の受け入れ態勢は整っており、支援学校の生徒が2週間の実習に来られる予定となっている。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページやパンフレットにて情報を公開している。必要に応じて、パンフレット等をお渡ししている。前回、第三者評価を受審しており、広範囲に渡って、情報公開ができています。</p>		

II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a · b · c
<p><コメント></p> <p>ホームページで情報を公開していて、NPOの監事による内部監査も実施できている。また、経理に関しては、会計士に一任している。中小企業診断士の評価があった際には、「素晴らしい運営をしている」とお褒めの言葉を頂いたこともある。</p>	

II-4 地域との交流と連携・地域貢献

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a · b · c
<p><コメント></p> <p>『互近助パントリー』への登録(社会福祉協議会)をしている。幼稚園、小学校や高等学校が隣接しており、朝・夕には通学する児童や生徒に挨拶を交わしている。近隣宅所有の駐車場を借りている。近隣のコンビニや施設内の自動販売機での買い物を楽しみにしている利用者もいる。</p>	
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a · b · c
<p><コメント></p> <p>ボランティアの受け入れ態勢は基本的にはないが、希望があれば受け入れも行う。ボランティアに関する書式は特に作成されていない。</p>	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a · b · c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明書の「障害者虐待等に関する窓口一覧」にて、関係機関を明示している。必要な場合は、就労部会やA型協議会へも参加している。倉敷市の主催する勉強会にも参加している。</p>	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a · b · c
<p><コメント></p> <p>A型協議会や倉敷市の主催する勉強会に参加することで、最新の情報を得ることができている。近隣宅の草取りを行っており、そこから空き缶集めの話に繋がり、子どもが夏休みの自由研究として取り上げる際に、施設訪問があった。</p>	

Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>近隣の子どもが空き缶を持って来てくれて、さらに学校でも話が広がり賃金向上に繋がった。ホームページにて、作業所の活動内容を明示している。『互近助パントリー』への登録（社会福祉協議会）もしている。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>定期的に勉強会や研修を実施している。理念には「自らの意思で働こうとする障がいのあるかたの働きたいを応援します」と書かれている。重要事項説明書や法令順守規程にも明記されている。現在の状況を把握した上で、利用者にとって一番良い方法を模索し、実践している。</p>	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明書や法令順守規程にも明記されている。一人作業の利用者には、集中しやすいようにパーティションを敷いている。プライバシーに配慮したサービスを提供するために、規程やマニュアルを整備している。</p>	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>見学があった際には、A型作業所以外の福祉サービスについても情報提供している。障害の特性に合わせた資料はないが、わかりやすい言葉で丁寧に説明するようにしている。</p>	
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>意思決定が困難な方に対しては、傾聴の姿勢を大切にしており、発語があるまで待つようにしている。わかりやすく説明したり、丁寧に説明するように配慮している。必要に応じて、家族にも丁寧に説明するようにしている。</p>	

Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明書の「サービス提供の内容」に明示している。必要に応じて、相談支援専門員と連携を相談・助言・援助を行っている。サービスの利用が終了した後も、管理者が窓口となり、相談できる体制が整っている。一般就労後は6ヶ月は定期的なフォローをしている。</p>	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>年2回以上、個別支援面談にて、意見を聞く場を設けている。面談記録にも残している。就労継続支援A型計画書にも満足度の項目があり、利用者の満足度について把握できている。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>これまでに大きな苦情はなく、小さい苦情のみとなっている。出た苦情に関しては、職員間で情報共有して、早期解決に向けて取り組んでいる。直接意見を言いつらい利用者が、意見箱に意見を入れたこともある。</p>	
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明書の「要望・苦情に関する相談窓口」にて明記している。苦情委員会の案内やポスターを掲示している。相談室は設けているが、施設の構造上プライバシーの配慮が難しいため、電話対応する場合もある。相談相手は、どの職員でも対応できる体制となっている。</p>	
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>利用者が相談しやすいように配慮し、マニュアルやフローチャートも整備されている。フローチャートを参考に迅速な対応ができるように心掛けている。相談相手は、どの職員でも対応できる体制となっている。見直しには至っておらず、新しい情報に書き換える予定である。</p>	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>感染症、身体拘束廃止、虐待防止委員会を設置している。就労先によっては、熱中症対策や安全靴の着用を促している。管理者は、安全・安心に作業ができるように、職員への指導も行っている。ヒヤリハットがあった際には、報告書をあげて、検討している。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>コロナ禍以降、検温や消毒、換気も行っている。必要に応じて、マスクを着用することで飛沫防止にもなっている。BCPの作成済み。食中毒や感染症に対する研修も実施している。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>緊急時用のバックを事務所に置いてある。災害が起きた場合には、近隣の学校に避難するようにしている。BCPは作成済みで、今後は備蓄を確保する予定である。通常避難場所は、老松小学校で、緊急避難の場合は、倉敷市立工業高等学校の体育館となっている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>運営規定、就業規則、重要事項説明書、個人情報同意書、特定個人情報取扱規程にて文書化している。年間個別支援計画に基づき、個別支援の見直しを図っている。また、必要に応じて、文章の見直しも行っている。</p>		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>年間個別支援計画に基づき、個別支援の見直しを図っている。検証・見直しが必要な事項が生じた際には、その都度行っている。職員や利用者の意見を反映して、モニタリングに活かしている。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>現在、個別支援計画の策定にあたり、様々な職種との連携を必要としている利用者はおらず、また、支援困難な利用者もいない。個別支援計画を作成する際には、管理者が中心となり、本人との話し合いの場を設けており、意向を汲み取った上でプランに反映させている。</p>		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>年間個別支援計画に基づき、個別支援の見直ししている。変更があった場合には、その都度、評価や見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>何かある場合には特記に記録し、日々の支援に係わる事や作業上で共有の必要な事項については、SNSを活用している。各業種に合わせたノートを作成しており、日々の様子を確認できるようになっている。また、利用者にも目を通して頂くようにしている。</p>		
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>研修やミーティングで何度も周知徹底を図っている。『職員行動指針』『就業規則』『個人情報保護に関する誓約書』にて記載している。重要な書類は、事務室の鍵の掛かったロッカーに保管している。</p>		

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重		
Ⅳ-1-(1)-①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画を作成する際には、サービス管理責任者が中心となり、本人の意向を汲み取った上でプランに反映させている。年間個別支援計画に基づき、個別支援の見直しを図っている。検証・見直しが必要な事項が生じた際には、その都度行っている。職員や利用者の意見を反映して、モニタリングに活かしている。</p>		

IV-1-(2) 権利侵害の防止等		
IV-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>権利擁護については、入所時に説明を行っている。何かあれば随時説明をするようにしている。法人の意向で、身体拘束はしない方針を取っている。「緊急やむを得ず」身体拘束を実施する場合の留意点にて、マニュアル化している。利用契約書にも明記している。</p>		

IV-2 生活支援

		第三者評価結果
IV-2-(1) 支援の基本		
IV-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
IV-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援面談にて、意見を聞く場を設けている。また、意見箱を活用し、意見を聴取している。</p>		
IV-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
IV-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画を作成し、利用者に寄り添った支援ができています。</p>		

IV-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(2) 日常的な生活支援	
IV-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(3) 生活環境	
IV-1-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練	
IV-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援	
IV-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	

IV-1-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<コメント> 非該当	
IV-2-(6) 社会参加、学習支援	
IV-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	
IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
IV-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
IV-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	

IV-3 発達支援

	第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援	
IV-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>昨年、働くためのマナー研修に参加して、意欲を高めている。利用者の適正に合わせた就労提供を行っている。働くことで居場所や存在意義の確認ができ、利用者の働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。来月1名の方が一般就労する予定である。</p>		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>作業はじめに配置や役割り、作業量や納期についても共有してから作業を開始している。終礼では個々の振り返りの場を設け、意識改革を図っている。日頃からの利用者との関係性を構築しており、適正に合わせた仕事内容となるように割り振りをしている。利用者賃金規程評価表に基づいて、賃金の算定をしている。</p>		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>共同受注窓口倉敷にて、新たな仕事場が開拓された。ホテルの清掃、公園の清掃(共有部分・トイレの清掃、植栽の水やり、草刈り)、お弁当の配送業務が増えた。ホームページを活用して周知している。半年間は就労支援サポートを実施しており、利用者が不安にならないように配慮している。</p>		